

農業後継者育成基金事業

平成27年度農高・農大就農促進対策事業

事業主体名 加世田常潤高等学校

1 目的

農業に関する知識・技術を学ばせると共に就農意識を高め幅広い農業観や勤労意欲を育て、農業関係への進路促進のために、諸活動を実施する。

活動としては、先進農家等視察研修や郷土研修、営農励ましの会、現場実習を実施する。

2 実施状況

(1) 視察研修の実施

農業大学校での研修では、各学部の紹介と施設を見学した。今後の農業学習の目標にしていきたい。また農家では、イチゴの栽培状況を見学し、説明を受けた。農業への興味・関心を引き出すと共に将来の進路の指針とする。



写真1 視察研修

(2) 郷土研修の実施

1年生を対象に、出身市町毎で関係機関の協力・支援を得て、地域の概要を説明を聴き、産業や地域の優良農家や企業の視察研修を実施。地域を知ることにより、地域農業の理解を深め、将来への方向付けの機会となった。



写真2 郷土研修

(3) 現場実習の実施

地域の優秀な農家や事業所での実習通して生徒の勤労観や職業観を育てる。

(4) 営農励ましの会の実施

卒業予定者の中で将来の就農志向である農業大学校等進学や農業関連団体企業への就職予定の者の目標を発表してもらうとともに、激励し、併せて1・2年生の将来の就農に対する意識の高揚を図る。



写真3 営農励ましの会

3 今後の課題, 取り組み

各耕種・畜産部門において地域課題も取り入れながら、学習をすすめのより専門的な知識・技術を身につけさせ、将来を就農者の確保と農業や地域産業に貢献できる人材育成を図る必要がある。